

こころ21だより

会報 第50号

2022年(令和4年)10月7日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者/理事長 岸房康行

こころ21

検索



フォーラムの開催

「未来を担う子どもの育て方を考える」

今年1月に開催を予定していたフォーラムはコロナ禍のため中止しましたが、今回は入場時に非接触型体温計を準備するなど、コロナ対策を徹底して開催します。

参加費
無料!!

- ・開催日時/令和4年11月12日(土)午後1時~4時
- ・場所/合人社ウェンディひと・まちプラザ 北棟6階マルチメディアスタジオ
- ・内容/同送のチラシを参照してください。登壇者は前回と同じメンバーです。
- ・申し込み/チラシ裏面の参加申込書によりファクスかメールで11月7日(月)までに事務局宛てにお申し込みください。

今回のフォーラムの共催団体 特定非営利活動法人百華倶楽部

この法人は、「広く人々に対してくつろぎや交流・活動・支援の場を提供することにより、自然環境を生かした地域コミュニティづくりを推進する事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする」として平成16年5月に設立されました。活動の中心地域は安芸高田市。

主な活動内容は里山森林整備事業、里山保全活動、自然体験活動。

昨年度も具体的には田植え体験会、子供自然体験教室は6回、里山サミット、食と農の会「会話シンポジウム」、安芸高田市ひろしまの森づくり事業、森の整備と炭窯跡の発掘と美化運動など開催しています。

理事長の住吉海平さんは金子事務局長と大学の同級生で、その縁もあり親しく交流しています。住吉さんいわく、やっとな集めの苦労から、実践の活動が行われるようになったと。

協賛いただきました

- ◆いでしたクリニック ◆JA広島中央会 ◆玉屋 ◆徒然社
- ◆ひろしま国際ホテル ◆広島信用金庫 ◆広島マツダ
- ◆タカトープ rint メディア

(10月5日現在・50音順)

子どものための音楽プロジェクト 2022

子ども夢コンサート開催！

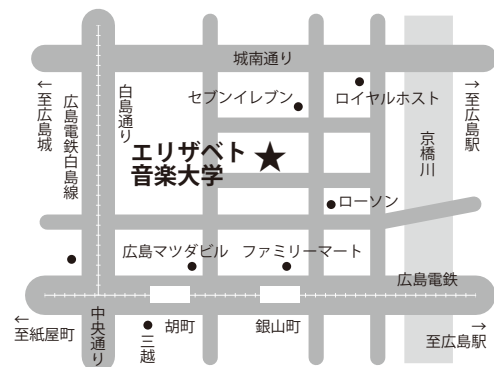


「子どものための音楽プロジェクト」は音楽専攻の大学生の協力を得て保育園・幼稚園・児童館などに出向き、子どもたちが生の音楽を身近に触れる機会を作り、子どもたちの情操を育み、心豊かな人間形成に資すること、併せて、協力を得る大学生の地域貢献、園児・保護者・地域住民との交流を図ることを目的として実施してきました。平成25年2月からコロナ禍で中断した令和元年12月まで34回開催しています。

コロナ禍を避けて新しい展開ができないかと模索していたところ、エリザベト音楽大学のご厚意により同大学のセシリアホール（定員 726 人）をお借りし、感染対策を十分に施した上で、流川こども園、広島女学院ゲース幼稚園の園児など約 180 人を招き実施することになりました。

作品は声楽専攻 4 年生の藤原 愛さんと糸賀里咲子さんが、子どもが楽しめる曲や音楽遊びを取り入れて書き上げたオリジナルの物語です。指導・監修は折河宏治准教授（NPO会員）、志賀あかりさん（卒業生）のお二人です。

開催日／令和4年11月21日（月）
会場／エリザベト音楽大学セシリアホール
開演／10:20 開場／10:00
公演は約1時間10分
演目／子どものためのミニオペラ
「人魚姫と海のなかまたち」
～さがそう！海のたからもの～



参加者募集

「人魚姫と海のなかまたち」の公演鑑賞を希望される会員を募集します。希望される方は11月16日（水）までにメール（tochy-kaneko@tsure20.co.jp）または電話で事務局までご連絡ください。

訃報 玖島 慶子さん 2022年8月20日死去（89歳）

編集後記

ロシアのウクライナ侵攻で、国外に脱出したウクライナの人たちを支援することがよく報道される。地球上の人たちがみんな幸せになればもちろんいいに決まっている。足元の日本の子どもたちのうち7人に1人は貧困で十分な食事がとれていないという。今回、次のような情報を入手した。

親と一緒に暮らせず、社会的養護施設で暮らす子ども・若者たちは全国で4万5千人ぐらいいるといふ。児童養護施設等に入所する子どもたちの入所理由のトップは「親からの虐待・ネグレクト」、経済的な理由で親と生活できないケースや家庭内

での課題があるようだ。社会的施設のもとで生活する子ども・若者たちの事情はさまざまで、とても複雑で保護者の精神疾患や、疾病での入院が理由となるケースもあるという。（NPO法人トナリビトの情報より）

こうした、国内の問題点をさておいて、ウクライナなど海外の問題に目を向けることの方が重要なことなのではないでしょうか。

ウクライナ支援をすることはなんか美德のごとく扱われ、あたかも流行のように！ 流行といえばコロナか？

（金子 敏郎）